

第3号1版
2014秋・冬号

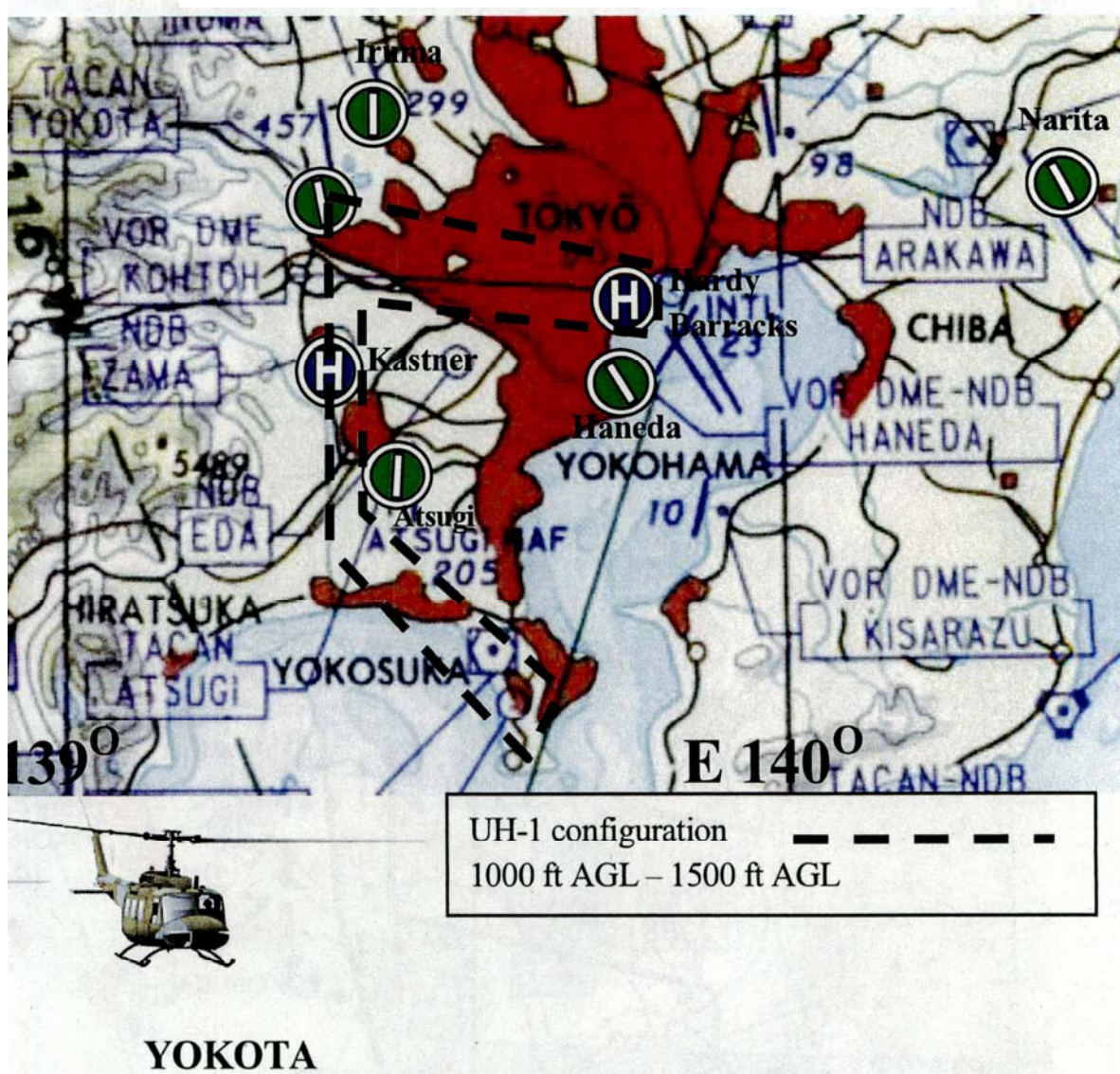
麻布米軍ヘリ基地撤去実行委員会 実行委員会ニュース

東京合同法律事務所付
TEL:03-3586-3651
〒107-0052
東京都港区赤坂2-2-21
E-Mail: azabu@tkm.att.ne.jp
URL: http://home.att.ne.jp/sigma/azabu/

[麻布米軍ヘリ基地 実態告発特集号]

米軍ヘリ「六本木ヒルズ」目標に飛行訓練！！

UH-1 TRAINING AREAS



空中衝突防止会議で配布された資料の抜粋。訓練空域が太い点線で示されている。
中央の Hardy Barracks が麻布米軍ヘリ基地（赤坂プレスセンター）である。この基地の南東約500mに六本木ヒルズが位置する。
なお、ヘリの高度は地上300～450mと示されている。

港区六本木にそびえ立つ六本木ヒルズ。高さ238M。その六本木ヒルズと横田基地の空域が米軍ヘリの訓練飛行区域になっていることをご存じでしょうか。昨年4月21日横田基地で開催された「関東航空機空中衝突防止会議」で配布された小冊子（米空軍第374空輸航空団作成）でわかりました。これまで横田基地所属米軍ヘリは、杉並区の中学校に不時着事故を起こしたり、横浜のみなとみらいに不時着事故を起こしたりしています。何百万人もの人が生活する首都圏の上空が危険な米軍機の飛行訓練空域とされていることは大問題です。なお、当実行委員会ではこの基地の実態調査を行っていますが、横田基地所属機およびキャンプ座間所属機のヘリが実際に六本木ヒルズの西側から飛行し、ヒルズを旋回している様子を確認しました。また同小冊子では、横田基地から三浦半島間も訓練飛行区域とされていることがわかりました。



ブラックホーク、公園のフェンス際10m以下を飛行！

実行委が行った昨年の現地調査時（2013年7月31日）、米陸軍（キャンプ座間）所属機と思われるUH-60ブラックホークが2機同時に飛来しました。ヘリは着陸の際、ヘリパッドにあるHのマークのポイントを完全に無視し、なんと2機同時にヘリパッドの約50m先の駐機場場に直接着陸しました。高官らを降ろした後、ヘリは、駐機場場で2機同時に離陸しながら方向転換をしました。うち1機は、青山公園に面した北側フェンスに機首を向け、フェンスから水平距離10m以内まで接近し、地上なんと10m以下の高さを通りました。このフェンスのすぐそばで私たち実行委は監視行動を続けておりましたが、その高さから私たちの頭上を、すさまじい爆風と爆音を叩きつけて通過しました！

飛び立った後、私たちは2度目の恐怖を感じました。ヘリが私たちの頭上を通過した時、三脚に設置した騒音計も、調査のために持ち込んだキャンプ用のテーブルや椅子も、ことごとくヘリの暴風に吹き飛ばされ、すべてひっくり返り、ゴミは散乱し、まるで熊にでも襲われたかのような様相を目撃したからです。

昨年8月に沖縄県宜野座村の米軍基地キャンプ・ハンセン内の山中に墜落したヘリHH-60、そして昨年12月に三浦半島の三崎港に墜落大破したヘリMH-60も、このUH-60と同系列機です。これが都心における米軍ヘリの飛行の実態です。



フェンスぎりぎりを飛行するUH-60。フェンスの高さは2.2m、この地点でヘリの高さわずか8mである。ヘリの全高は5.13m、重量は約10tもある。ヘリの左側に見えるのは政策研究大学院大学。



ヘリに吹き飛ばされたキャンプ用の椅子やテーブル。